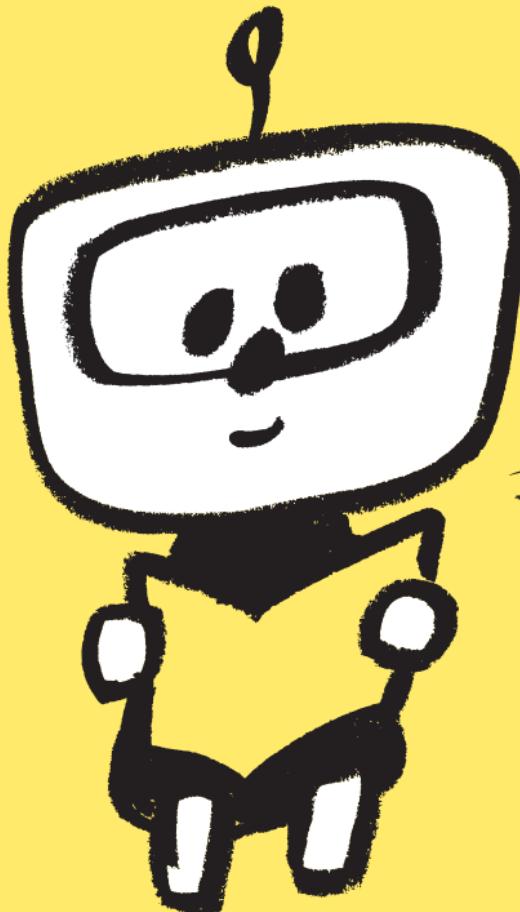


新潮文庫

高等学校国語教科書 採用作品一覧



感情は
何ぞろ？

平成30年度



現代文B



現代文A 青春文学名作選—歴史の中の青春



精選 国語総合



國語總合



国語表現 改訂版

・言いまつがい

糸井重里『言いまつがい』

価格(税込)



高等学校現代文B [改訂版]



現代文 A



高等学校 国語総合
現代文編 改訂版



精選 国語総合 改訂版



明解 国語総合 改訂版



探求現代文B

天山月記 景	中島敦「李陵・山月記」
死なない蛸 永訣の朝	萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
檸檬 檸檬	萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
なめとこ山の熊 与謝野晶子の短歌	宮沢賢治「新編宮沢賢治詩集」
こころ 斎藤茂吉の短歌	小川洋子「まぶた」
石川啄木の短歌	夏目漱石「こころ」
羅生門 羅生門	萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
旅上 旅上	吉川英治「水都都市・デンドロカカリヤ」
釐のうへ 釐のうへ	宮沢賢治「注文の多い料理店」
死なない蛸 死なない蛸	与謝野晶子「みだれ髪」
サーカス サーカス	斎藤茂吉「赤光」
清美と瓢箪 清美と瓢箪	石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」
なめとこ山の熊 なめとこ山の熊	芥川龍之介「羅生門・鼻」
与謝野晶子の短歌 与謝野晶子の短歌	萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
斎藤茂吉の短歌 斎藤茂吉の短歌	中原中也「中原中也詩集」
石川啄木の短歌 石川啄木の短歌	宮沢賢治「注文の多い料理店」
富嶽百景 富嶽百景	吉川英治「三国志(一)(十)」
夜 夜	平均
旅する本 旅する本	芥川龍之介「羅生門・鼻」
舞姫 舞姫	三好達治「三好達治詩集」
たけくらべ たけくらべ	萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
蒲団 蒲団	中原中也「中原中也詩集」
こころ こころ	宮沢賢治「注文の多い料理店」
羅生門 羅生門	吉川英治「水都都市・デンドロカカリヤ」
初恋 初恋	与謝野晶子「みだれ髪」
サーカス サーカス	斎藤茂吉「赤光」
夢十夜 夢十夜	石川啄木「一握の砂・悲しき玩具」
伊豆の踊子 伊豆の踊子	石川啄木「赤光」
赤い繭 赤い繭	芥川龍之介「羅生門・鼻」
神様姫 神様姫	森鷗外「阿部一族・舞姫」
夏の花 夏の花	樋口一葉「にぎりえ・たけくらべ」
永訣の朝 永訣の朝	中原中也「中原中也詩集」
こころ こころ	田山花袋「蒲団・重右衛門の最後」
陰翳礼讃 陰翳礼讃	夏目漱石「文鳥・夢十夜」
無常といふこと 無常といふこと	芥川龍之介「羅生門・鼻」
伊豆の踊子 伊豆の踊子	島崎藤村「藤村詩集」
赤い繭 赤い繭	樋口一葉「にぎりえ・たけくらべ」
安部公房 安部公房	中原中也「中原中也詩集」
壁 壁	太宰治「走れメロス」
安部公房 安部公房	夏目漱石「文鳥・夢十夜」
壁 壁	夏目漱石「文鳥・夢十夜」
涙の贈り物 涙の贈り物	中島敦「李陵・山月記」
永山月記 永山月記	宮沢賢治「新編宮沢賢治詩集」
夏の花 夏の花	原民喜「夏の花・心願の国」
こころ こころ	夏目漱石「こころ」
陰翳礼讃 陰翳礼讃	谷崎潤一郎「陰翳礼讃・文章読本」
無常といふこと 無常といふこと	中島敦「李陵・山月記」
伊豆の踊子 伊豆の踊子	川端康成「伊豆の踊子」
赤い繭 赤い繭	安部公房「壁」
神様姫 神様姫	安部公房「壁」
櫻井基次郎 櫻井基次郎	中島敦「李陵・山月記」
三島由紀夫 三島由紀夫	宮沢賢治「新編宮沢賢治詩集」
鍵のかかる部屋 鍵のかかる部屋	原民喜「夏の花・心願の国」
安部公房 安部公房	夏目漱石「こころ」
笑う月 笑う月	谷崎潤一郎「陰翳礼讃・文章読本」
ブラウン ブラウン	中島敦「李陵・山月記」
体の贈り物 体の贈り物	小林秀雄「モオツアルト・無常といふこと」
元幸詠 元幸詠	森鷗外「阿部一族・舞姫」
神様姫 神様姫	樋井基次郎「檸檬」
櫻井基次郎 櫻井基次郎	三島由紀夫「鍵のかかる部屋」
安部公房 安部公房	安部公房「笑う月」
壁 壁	ブラウン「体の贈り物」
涙の贈り物 涙の贈り物	柴田元幸詠



改訂版 現代文B

小諸なる古城の
斎藤茂吉の短歌
野火 こころ
姫 蕉 赤い
櫻 樅 無常といふこと

小林秀雄『王オツアールト・無常という事』
梶井基次郎『檜櫻』
安部公房『壁』
森鷗外『阿門族・舞姫』
大岡昇平『野火』
島崎藤村『藤村詩集』
宮沢賢治『新編宮澤賢治詩集』
李陵『山月記』
島崎敦『李陵』



新編 国語総合

サーカス
羅生門
与謝野晶子の短歌
斎藤茂吉の短歌
石川啄木の短歌
清兵衛と瓢箪
旅する本
桃園の誓い

中原中也『中原中也詩集』
芥川龍之介『羅生門・鼻』
与謝野晶子『みだれ髪』
斎藤茂吉『赤葉』
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』
志賀直哉『清兵衛と瓢箪・網走まで』
角田光代『さがしもの』
吉川英治『三国志（一～十）』 平五



改訂版 国語総合

羅生門 サーカス
与謝野晶子の短歌
石川啄木の短歌
城の崎にて
富嶽百景
旅する本
三国志を楽しも

芥川龍之介『羅生門・鼻』
中原中也『中原中也詩集』
与謝野晶子『みだれ髪』
石川啄木『一握の神様・悲しき玩具』
志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』
太宰治『走れメロス』
角田光代『さがしもの』
吉川英治『三国志』(一~十) 平均



改訂版 高等学校 国語総合

羅生門 サーカス
清兵衛と瓢箪
富嶽百景
旅する本
与謝野晶子の短歌
斎藤茂吉の短歌
石川啄木の短歌

芥川龍之介『羅生門・鼻』
中原中也『中原中也詩集』
志賀直哉『飛行兵衛と瓢箪・網走まで』
太宰治『走れモロス』
角田光代『さがしもの』
与謝野晶子『みだれ髪』
斎藤茂吉『赤光』
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』
中島敦『李陵・山月記』



明解現代文B 改訂版

汚れつちまつた
与謝野晶子の短歌
石川啄木の短歌
こころ
山椒魚
ピクニツクの準
永訣の朝
山月記

中原中也『中原中也詩集』
与謝野晶子『みだれ髪』
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』
夏目漱石『このる』
井伏鱒二『山椒魚』
恩田陸『図書館の海』
宮沢賢治『新編宮沢賢治詩集』
中島敦『李陵・山月記』



精選現代文B 改訂版

ここ
鞠
樹下の二人

夏目漱石『こゝろ』
安部公房『笑う月』
高村光太郎『高村光太郎詩集』
高村光太郎『智恵子抄』
島崎藤野『藤野詩集』
森鷗外『阿部一家・舞姫』
小川洋子『まぶた』
小林秀雄『モオツアールト・無常』



高等学校 改訂版 新編現代文 A



高等学校 改訂版 新編国語総合



高等学校 改訂版 標準国語総合



高等学校 改訂版 国語総合



高等学校 改訂版 新訂
国語総合 現代文編

汚れつゝまつた悲しみに……
永訣の朝

江國香織「つめたいよるに」
中原中也
宮沢賢治「新編宮沢賢治詩集」
芥川龍之介「羅生門・鼻」
夏目漱石「こころ」
中島敦「李陵・山月記」

道程 小景異情
与謝野晶子の短歌
斎藤茂吉の短歌
石川啄木の短歌
よだかの星
ほねとたね
数の不思議
羅生門 に魅せられて

高村光太郎『高村光太郎詩集』
室生犀星『室生犀星詩集』
斎藤茂晶『みだれ髪』
与謝野晶子『赤叶』
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』
宮沢賢治『新編銀河鉄道の夜』
川上弘美『バスタマシーンの幽霊』
小川洋子『博士の愛した数式』
芥川龍之介『羅生門・鼻』

羅生門 道程
黄色い花束 卒業ホームラン
与謝野晶子の短歌 斎藤茂吉の短歌
石川啄木の短歌 夢十夜

芥川龍之介 「羅生門・鼻」
 高村光太郎 「高村光太郎詩集」
 黒柳徹子 「小さいときから考えてきたこと」
 重松清 「日曜日の夕刊」
 『文藝ホーリー・ラン』自選短編集 男子編
 与謝野晶子 「みだれ髪」
 斎藤茂吉 「赤光」
 石川啄木 「一握の砂・悲しき玩具」
 夏目漱石 「文鳥・夢十夜」

夢十夜	一つのメルヘン
与謝野晶子の短歌	羅生門
石川啄木の短歌	旅する本
斎藤茂吉の短歌	鼈のうへ
城の崎にて	一つのメルヘン
夢十夜	与謝野晶子の短歌
斎藤茂吉の短歌	城の崎にて
石川啄木の短歌	夢十夜
城の崎にて	斎藤茂吉の短歌

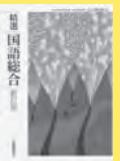
中原中也『中原中也詩集』
夏目漱石『文鳥・夢十夜』
与謝野晶子『みだれ髪』
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』
斎藤茂吉『赤光』
志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』
芥川龍之介『羅生門・鼻』
角田光代『さがしもの』
三好達治『三好達治詩集』
中原中也『中原中也詩集』
夏目漱石『文鳥・夢十夜』
与謝野晶子『みだれ髪』
斎藤茂吉『赤光』
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』
志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』

山椒魚
こころ
山月記
永訣の朝
舞姫

井伏鱒二「山椒魚」「夏田漱石『こころ』」
中島敦『李陵・山月記』
宮沢賢治『新編宮沢賢治詩集』
森鷗外『阿部一族・舞姫』



現代文 A

国語総合 改訂版
現代文編

精選 国語総合 新訂版



新編 国語総合 改訂版



高等学校 改訂版 標準現代文 B



高等学校 改訂版 現代文 B

山月記
中島敦『李陵・山月記』
高瀬舟
森鷗外『山瀬大夫・高瀬舟』
小景異情
室生犀星『室生犀星詩集』
与謝野晶子の短歌
与謝野晶子『みだれ髪』
斎藤茂吉の短歌
斎藤茂吉『赤光』
石川啄木の短歌
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』

山月記
中島敦『李陵・山月記』
こころ
夏目漱石『こころ』
高瀬舟
森鷗外『山瀬大夫・高瀬舟』
小景異情
室生犀星『室生犀星詩集』
与謝野晶子の短歌
与謝野晶子『みだれ髪』
斎藤茂吉の短歌
斎藤茂吉『赤光』
石川啄木の短歌
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』

羅生門
芥川龍之介『羅生門・鼻』
富嶽百景
夏目漱石『文鳥・夢十夜』
城の崎にて
太宰治『走れメロス』
一つのメルヘン
志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』
与謝野晶子の短歌
斎藤茂吉『赤光』
石川啄木の短歌
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』

羅生門
芥川龍之介『羅生門・鼻』
齧のうへ
三好達治『三好達治詩集』
一つのメルヘン
中原中也『中原中也詩集』
城の崎にて
志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』
夢十夜
夏目漱石『文鳥・夢十夜』
与謝野晶子の短歌
斎藤茂吉『赤光』
石川啄木の短歌
石川啄木『一握の砂・悲しき玩具』

羅生門
芥川龍之介『羅生門・鼻』
あどけない話
中原中也『中原中也詩集』
与謝野晶子の短歌
芥川龍之介『羅生門・鼻』
石川啄木の短歌
芥川龍之介『戲作三昧・一塊の土』
夢十夜
夏目漱石『文鳥・夢十夜』
与謝野晶子の短歌
芥川龍之介『私と踊つて』
山月記
中島敦『李陵・山月記』

山月記
中島敦『李陵・山月記』
自然の背後に隠れて居る
枯野抄
柳宗理『魔笛』
舞姫
櫻井基次郎『櫻様』
殿子の七の日
デューク
永訣の朝
鼻
こころ
葉桜と魔笛
山椒魚
山月記
恩田陸『私と踊つて』
宮沢賢治『新編宮沢賢治詩集』
夏目漱石『こころ』
芥川龍之介『阿部・舞姫』
森鷗外『阿部・舞姫』
太宰治『新樹の言葉』
芥川龍之介『櫻様』
梶井基次郎『櫻様』
中島敦『李陵・山月記』



国語総合 改訂版



国語表現 改訂版



精選現代文B 改訂版



新編現代文B 改訂版



現代文B 改訂版 下巻



現代文B 改訂版 上巻

羅生門
清兵衛と瓢箪
竹
汚れつちまつた悲しみに
樹下の二人
与謝野晶子の短歌
石川啄木の短歌

芥川龍之介「羅生門・鼻」
志賀直哉「清兵衛と瓢箪・網走まで」
萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
中原中也「中原中也詩集」
高村光太郎「高村光太郎詩集」
高村光太郎「智恵子抄」
与謝野晶子「みだれ髪」
斎藤茂吉「赤光」

夕鶴
ロミオとジュリエット
目玉焼きの正しい食べ方
夕陽の輝き
舞待
櫻美
赤い繭
たけくらべ
姫つ
櫻神
山椒魚
こころ
たけくらべ
無常といふこと

木下順一「夕鶴・彦市ばなし」
シェイクスピア「ロミオとジュリエット」
伊丹十三「女たちよ!」
森鷗外「阿部一族・舞姫」
小林秀雄「モオツアルト・無常といふ事」
黒柳徹子「トットの欠落帖」

永訣の朝
山椒魚
こころ
たけくらべ
櫻美
赤い繭
山月記
蝉
頃
樹下の二人

宮沢賢治「新編宮沢賢治詩集」
井伏鱒二「山椒魚」
夏目漱石「こころ」
樋口一葉「にぎりえ・たけくらべ」
安部公房「壁」
三島由紀夫「鍵のかかる部屋」
梶井基次郎「櫻檬」
太宰治「新ハムレット」
森鷗外「阿部一族・舞姫」

星の王子さま
石川啄木の短歌
このろの王子さま
小諸なる古城のほとり
小景異情
山月記
蝉
頃
樹下の二人

中島敦「李陵・山月記」
萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
室生犀星「室生犀星詩集」
高村光太郎「高村光太郎詩集」
高村光太郎「智恵子抄」
サン=テグジュベリ「星の王子さま」
夏目漱石「こころ」

伊豆の踊り子
舞姫
たけくらべ
赤い繭
舞待
櫻檬
山月記
蝉
頃
樹下の二人

森鷗外「阿部一族・舞姫」
樋口一葉「にぎりえ・たけくらべ」
安部公房「壁」
島崎藤村「藤村詩集」
室生犀星「室生犀星詩集」
谷崎潤一郎「陰翳礼讃・文章読本」
梶井基次郎「櫻檬」
川端康成「伊豆の踊子」
森鷗外「阿部一族・舞姫」
樋口一葉「にぎりえ・たけくらべ」

永訣の朝
樹下の二人
蝉
竹
美神
自然に学ぶ

小林秀雄「モオツアルト・無常といつ事」
谷崎潤一郎「陰翳礼讃・文章読本」
梶井基次郎「櫻檬」
川端康成「伊豆の踊子」
森鷗外「阿部一族・舞姫」
樋口一葉「にぎりえ・たけくらべ」
安部公房「壁」
島生犀星「室生犀星詩集」
高村光太郎「高村光太郎詩集」
萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
高村光太郎「智恵子抄」
宮沢賢治「新編宮沢賢治詩集」
夏目漱石「こころ」
三島由紀夫「鍵のかかる部屋」
梶井基次郎「櫻檬」
与謝野晶子「みだれ髪」
川端康成「伊豆の踊子」
森鷗外「阿部一族・舞姫」
樋口一葉「にぎりえ・たけくらべ」
安部公房「壁」
島生犀星「室生犀星詩集」
高村光太郎「高村光太郎詩集」
萩原朔太郎「萩原朔太郎詩集」
高村光太郎「智恵子抄」
宮沢賢治「新編宮沢賢治詩集」

東京書籍



国語総合 現代文編



精選国語総合



新編国語総合

・ 羅生門
城の崎にて
小景異情
汚れつしまつた悲しみに
与謝野晶子の短歌
石川啄木の短歌
富嶽百景
斎藤茂吉の短歌
富嶽百景

・ 羅生門
城の崎にて
冬が來た
里山物語
夢十夜
舞齋藤茂吉の短歌
与謝野晶子の短歌
石川啄木の短歌
富嶽百景

・ 芥川龍之介 「羅生門・鼻」
志賀直哉 「小僧の神様・城の崎にて」
高村光太郎 「高村光太郎詩集」
中原中也 「中原中也詩集」
与謝野晶子 「みだれ髪」
斎藤茂吉 「赤光」
石川啄木 「一握の砂・悲しき玩貝」
太宰治 「走れメロス」

432 562 464 464 594 529 562 400

432 464 562 464 594 529 562 400

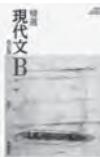
432 562 464 464 594 529 562 400

432 464 562 464 594 529 562 400

筑摩書房



現代文B 改訂版



精選現代文B 改訂版



精選 国語総合
現代文編 改訂版

・ 竹棒生門
およぐひと
小景異情
石川啄木の短歌
十夜木の短歌
夢十夜
斎藤茂吉の短歌
与謝野晶子の短歌
石川啄木の短歌
斎藤茂吉の短歌

・ 杉川龍之介 「羅生門・鼻」
安部公房 「R 6 2号の発明・鉛の卵」
萩原朔太郎 「萩原朔太郎詩集」
萩原朔太郎 「萩原朔太郎詩集」
室生犀星 「室生犀星詩集」
宮沢賢治 「新編宮沢賢治詩集」
北原白秋 「北原白秋詩集」
斎藤茂吉 「赤光」
与謝野晶子 「みだれ髪」
安部公房 「笑う月」
夏目漱石 「ここる」
太宰治 「ヴィヨンの妻」
谷崎潤一郎 「陰翳礼讃・文章読本」
森鷗外 「阿部一族・舞姫」
柳田國男 「遠野物語」
森鷗外 「阿部一族・舞姫」
太宰治 「きりぎりす」
夏目漱石 「ここる」
中原中也 「中原中也詩集」
宮沢賢治 「新編宮沢賢治詩集」
斎藤茂吉 「赤光」
森鷗外 「阿部一族・舞姫」
谷崎潤一郎 「陰翳礼讃・文章読本」
小林秀雄 「モオツアルト・無常といふ事」
柳田國男 「遠野物語」

464 464 562 464 529 529 529 637 400

464 594 594 562 562 562 594 400 594 432 562 594 400 400 497 464 562 432 562 529 464 432

明治書院

東京書籍

新 精選 現代文B	新 高等学校 現代文B	新 高等学校 国語総合	新 精選 国語総合 現代文編	精選現代文B	新編現代文B	現代文A
山月記 小景異情 永訣の朝 櫻様 およぎひと 姫舞踏会	中島敦『李陵・山月記』 宮生犀星『室生犀星詩集』 夏目漱石『こころ』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 森鷗外『阿部一族・舞姫』	芥川龍之介『羅生門・鼻』 谷崎潤一郎『陰翳礼讃・文章読本』 中原中也『中原中也詩集』 斎藤茂吉『赤光』 志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』 太宰治『走れメロス』	芥川龍之介『羅生門・鼻』 谷崎潤一郎『陰翳礼讃・文章読本』 中原中也『中原中也詩集』 斎藤茂吉『みだれ髪』 石川啄木『悲しき玩具』 志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』 太宰治『走れメロス』	中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 夏目漱石『こころ』 中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 森鷗外『阿部一族・舞姫』	井伏鱒二『山椒魚』 夏目漱石『こころ』 中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 宮沢賢治『新編宮沢賢治詩集』 太宰治『新樹の言葉』	山椒魚 こころ 山月記 永訣の朝 鞆姫 葉桜と魔笛
山月記 小景異情 永訣の朝 櫻様 およぎひと 姫舞踏会	中島敦『李陵・山月記』 宮生犀星『室生犀星詩集』 夏目漱石『こころ』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 森鷗外『阿部一族・舞姫』	芥川龍之介『羅生門・鼻』 谷崎潤一郎『陰翳礼讃・文章読本』 中原中也『中原中也詩集』 斎藤茂吉『赤光』 志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』 太宰治『走れメロス』	芥川龍之介『羅生門・鼻』 谷崎潤一郎『陰翳礼讃・文章読本』 中原中也『中原中也詩集』 斎藤茂吉『みだれ髪』 石川啄木『悲しき玩具』 志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』 太宰治『走れメロス』	中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 夏目漱石『こころ』 中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 森鷗外『阿部一族・舞姫』	井伏鱒二『山椒魚』 夏目漱石『こころ』 中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 宮沢賢治『新編宮沢賢治詩集』 太宰治『笑う月』	山椒魚 こころ 山月記 永訣の朝 鞆姫 葉桜と魔笛
山月記 小景異情 永訣の朝 櫻様 およぎひと 姫舞踏会	中島敦『李陵・山月記』 宮生犀星『室生犀星詩集』 夏目漱石『こころ』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 森鷗外『阿部一族・舞姫』	芥川龍之介『羅生門・鼻』 谷崎潤一郎『陰翳礼讃・文章読本』 中原中也『中原中也詩集』 斎藤茂吉『赤光』 志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』 太宰治『走れメロス』	芥川龍之介『羅生門・鼻』 谷崎潤一郎『陰翳礼讃・文章読本』 中原中也『中原中也詩集』 斎藤茂吉『みだれ髪』 石川啄木『悲しき玩具』 志賀直哉『小僧の神様・城の崎にて』 太宰治『走れメロス』	中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 夏目漱石『こころ』 中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 森鷗外『阿部一族・舞姫』	井伏鱒二『山椒魚』 夏目漱石『こころ』 中島敦『李陵・山月記』 萩原朔太郎『萩原朔太郎詩集』 宮沢賢治『新編宮沢賢治詩集』 太宰治『新樹の言葉』	山椒魚 こころ 山月記 永訣の朝 鞆姫 葉桜と魔笛

文豪ナビ

定価各本価430円+税

新潮文庫の新シリーズ!

名作を「新発見」。

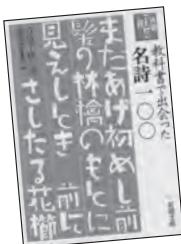


- 超早分かり! 何を読めば面白い?
あなたにピッタリの作品がわかる役立ちナビ
- 人気作家の熱烈エッセイ
重松清(太宰治)、石田衣良(川端康成)、etc.
- 10分で読める、「要約」名作
名作の深い味わいをチチ体験=木原武一
- 声に出して読みたい名場面
とっておきの「名場面」を紹介=齋藤 孝
- どんな人だったの?
漱石はなぜ作家に? 文豪の評伝=島内景二
- こんなときに読みたい名作
いまの気分にマッチした名作をビジュアルに

思わず名作が読みたくなってしまう
目からウロコの《新発見》情報満載!

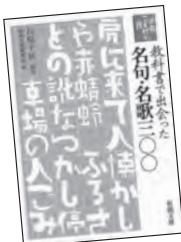
教室で心を震わせた、あの言葉をもう一度 教科書で出会った名作【全3作】

教科書に収録された俳句や短歌、詩、古文漢文を収録したアンソロジー



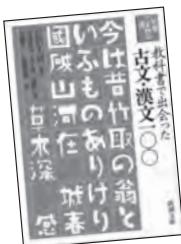
新潮ことばの扉 教科書で出会った 名詩100

石原千秋【監修】 新潮文庫編集部【編】
○定価(本体490円+税)



新潮ことばの扉 教科書で出会った 名句・名歌300

石原千秋【監修】 新潮文庫編集部【編】
○定価(本体430円+税)



新潮ことばの扉 教科書で出会った 古文・漢文100

石原千秋【監修】 有馬義貴・木下優・
近藤仁美・佐藤浩一・阿部光磨【著】
○定価(本体670円+税)

新潮文庫

杉本雅哉さん

広島県立西条農業高等学校一年

選考委員
角田光代さん講評

ワタシの一行 大賞

第5回
中高生の
ための

あなたの胸に新らしい命が
宿る事が出来るなら満足です。

夏田藻石著

【二】の一を行を選んだ理由

私は「こころ」を読んだ。自分は半生は学生「私」が、後半は先生「私」が、交流を描いている。時代、自分の裏切りによって友人を自殺に追い込んだしまったという独自の先生の遺書だ。その遺書の中の一文が心に残った。私は、どうして先生が「私」に遺書を送ったのか疑問に思ったが、この一文を読み納得した。先生の経験や考え方を遺書という形で「私」に伝えることで、それを「私」に新しい考え方へ変える

て欲しいのだとと思う。それが自分の心臓を自分で治す、その血をあなたに浴びせ、あなたの胸に新たな命を宿す」という比喩的な内容に表されている所に、夏目漱石のすごさを感じた。

「先生」が語る昔の人々の考え方を血つまり言葉という形で「私に浴びせ、「私が心臓つまり語り手として、新たな考え方を新たな血として、読者の心に送り込んでいる。これが「ここ」」という意味深なタイトルに繋がっていると思う。

ときの衝撃を忘れられない私にとっても、じつに新鮮な解釈で、目が覚めるような思いだつた。たつ一行が、こんなにもすごい作品論になることがあるのだと驚いた。たしかに「こころ」は今の時代でも、今の若者たちにも、新たな血液・新たな考え方を送り込んでいる。それだけの強い心臓を持つた小説だと納得させられた。

新潮文庫
第6回
中高生のための
ワタシの一行大賞

たつた一行で覚えていいる小説というのは、案外多い。その一行をつぶやいただけで、涙腺がゆるむときもある。そのうつくしさに、目を見はることも。その一行といふのは小説の心臓だ。

読み手がそれを口ずさむたび、それは力強く脈打ち、小説全体にあたたかな血をゆきわたらせる。

心臓はひとつではない、読み手によつていいく
いかようにも、小説は生き生きと立ち上がる。
それが小説のすごいところ。

あなたにとつての心臓は、どこですか。



“新潮文庫ワタシの一行大賞”は、
から、気になった「一行」を選び、その一行に関する
を記述する、新しいかたちの読書エッセイコンクールです。

[概要] 対象図書の中から、あなたの心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのかを100~400文字で書いてください。住所・氏名・年齢・学校名・学年・電話番号・対象図書名と選んだ「一行」の掲載ページを別途必ず明記してください。

[対象者] 中・高校生の個人、または、団体の応募をお待ちしています。

【対象図書】2018年「中学生に読んでほしい30冊」「高校生に読んでほしい50冊」選定作品
「新潮文庫の100冊」選定作品 ※新潮文庫ホームページ<http://www.shinchosha.co.jp/bunko/>にて2018年7月1日より発売します。

【締切】2018年9月30日(当日消印有効)

【発表】受賞作品は「波」1月号(2018年12月27日発売予定)と新潮社ホームページにて、発表時に全文を掲載します。大賞作品は次年度の「中学生に読んでほしい30冊」

「高校生に読んでほしい50冊」に掲載します。

【賞品】大賞：1名、優秀賞・佳作：数名に、賞状と図書カードを贈呈。

〔宛 先〕郵便：〒162-8711 東京都新宿区矢来町2
Eメール：ichigyo@shinchosha.co.jp

※団体名は受け取った状態で書類を提出する場合に明記してください。なお、応募原稿は返却いたしません。
※応募は何回でも受け付けておりますが、一書名につきひと回限り複数のエッセイを応募することはできません。
※次に述べる登録情報の発表権利を放棄する場合は、提出時に「ボックス」に印を押すか、手書きで「放棄」を記入して下さい。
※応募登録の弊害として、個人情報を記入いただいた個人情報は選考結果の発表や、弊社の
業者への連絡等に使用されることがあります。個人情報の保護について、弊社の個人情報保護方針
をご確認ください。

● ●
価格は平成30年4月30日現在(消費税8%を含む定価)。今後変更の場合はあります。ご了承ください。
注文は最寄りの書店へどうぞ。小社へのお問合せは営業部文庫係／電話03(3260)5132へお願いいたします。